



衛星技術開発・衛星データ利用拡大 に関するJAXAの取り組み

2022年2月8日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

1. 現在の政府全体の宇宙活動におけるJAXAの役割

安全保障

宇宙状況把握

早期警戒

国土管理

データ利用

産業振興

事業創出・育成

ベンチャー支援

農業・林業・水産業

海洋状況

通信・測位

温室効果ガス観測

森林状況把握

環境・気候変動

宇宙システム海外展開

国際宇宙探査

国際協力

宇宙外交

国際宇宙ステーション

宇宙科学・探査

科学技術

宇宙へのアクセス

自立性

基幹技術

政府全体の宇宙開発利用を
技術で支える中核的实施機関



2. 第4期中長期目標期間における取組方針

政府全体の宇宙航空の開発利用を技術
で支える中核的实施機関



宇宙安全保障の確保



宇宙科学・探査による
新たな知の創造

災害対策・国土強靱化
や地球規模課題の解決
への貢献



宇宙を推進力とする
経済成長とイノベーション
の実現



産業・科学技術基盤を始めとする我が国の宇宙活動を支える
総合的基盤の強化



航空産業の振興・国際競争力強化

3. 衛星技術開発・衛星データ利用拡大に関する取組方針

先進的な衛星技術（システム技術・基盤技術）の研究開発及び地球観測衛星データの利用促進を通じて、産学官との連携を強化し、社会課題解決に貢献。

衛星基盤技術の研究開発 国際競争力の強化

- 競争の激しい既存市場における我が国のシェア拡大を目指し、研究開発や衛星データ利用促進等を一層推進。
- 衛星開発・実証プラットフォームに参加して、各府省庁、大学・研究機関、ベンチャー企業を含む民間事業者等と連携し、衛星技術の研究開発・実証を推進し、我が国の衛星基盤技術の発展に貢献。

（主な取組み）

- 技術試験衛星9号機（ETS-9）開発
- 小型技術刷新衛星研究開発プログラム
- 革新的衛星技術実証プログラム

地球観測衛星・観測センサ等の 研究開発・衛星データ利用

- 先進的な地球観測衛星等の研究開発及び基幹的な衛星技術の高度化を進め、国内外のユーザーへ気候変動関連の衛星データの提供を継続的に行い、国際連携を推進し、気候変動対策・SDGs達成に貢献。
- 防災機関や自治体等へ事前の防災活動や発災時の迅速対応、復興に資する情報を提供し、有効的な減災に繋げる。

（主な取組み）

- 民間企業単独では実施が困難な挑戦的衛星観測技術の研究開発
- 社会基盤としての地球観測衛星システム実現に向けた全体戦略の検討・推進
- 地球観測の産・学・官 連携構築

3. 衛星技術開発・衛星データ利用拡大に関する取組方針

先進的な衛星技術の研究開発成果を基盤として、新たな研究開発と衛星利用を推進し、安全保障分野に貢献。また、民間事業者との共創による新事業創出も推進。

安全保障に資する 研究開発・衛星データ利用

- 先進的な研究開発による我が国の測位システムを支える技術の向上
- 海洋状況把握（MDA）分野では、地球観測衛星等の知見の提供による政府支援、衛星による船舶検出等の将来的な安全保障分野の利用ニーズを捉えた研究開発
- 安全保障機関との連携強化（衛星開発・利用にかかる技術支援等）

（主な取組み）

- 準天頂衛星システムパイロード開発、要素技術の研究開発
- 衛星AIS開発、衛星データ処理・解析技術開発

衛星データ利用拡大を通じた 新事業創出

- 民間事業者等とのパートナーシップ型の協業により、事業・利用シナリオの企画立案、共同チーム体制等による技術開発・実証
- 民間事業者・関係機関等と連携し、効率的な衛星データ処理や新たな情報分析手法、衛星データの複合利用化等による新規事業等の創出

（主な取組み）

- J-SPARCにおけるベンチャー企業等との共創
- 衛星コンステレーションによる革新的衛星観測ミッション共創プログラム(仮)
- 産官学による輸送/超小型衛星ミッション拡充プログラム(仮)
- 衛星観測データを社会実装する利用技術・システム(例:Today'sEarth, GSMaP, AW3D)